



ALPA Japan/大原記念労働科学研究所 疲労に関するアンケート 2017

昨年（2016年）実施した運航乗務員の疲労に関するアンケートでは、226名の回答を得ることができました。この場をお借りして御礼申し上げます（ALPA Japan ニュース 41-03 参照）。

その時のデータは労働科学研究所において分析され、学術論文として公表されました。また、2017年9月の日乗連総会でもその内容が報告されています。

今回は長距離国際線主体のアンケートとなりましたが、今回の調査は短距離国内線/離島路線を中心としたアンケートとなっています。従いまして、前回ご回答いただけなかった国内線主体のパイロットの方々から多くの回答をいただきたいと思います。

今後、国内で疲労管理とFRMSの対策と研究が進むにつれて、乗務職の疲労実態調査はますます重要なものとなっていきます。そのため、今回の調査も今後多大な影響を及ぼすことが予想されます（現時点で日本国内で同様の調査は実施されていません）。

皆様の現場の正直な声を分析に反映させるため、お一人でも多くの回答を得るため是非アンケートへのご協力をお願いします。質問数は計30問、回答に要する時間は20分程度です。よろしくお願いします。

<https://jp.surveymonkey.com/r/hirou2017>





公財団法人
大原記念労働科学研究所
The Ohara Memorial Institute for Science of Labour



ALPA Japan
日本乗員組合連絡会議

2017 ALPA Japan/大原記念労働科学研究所 疲労に関するアンケート

ALPA Japan/日乗連・大原記念労働科学研究所共同 疲労に関するアンケート2017 乗務職疲労調査

昨年の運航乗務員の疲労に関するアンケートでは226名の回答を得ることができました、ありがとうございました。そのデータは、労働科学研究所において分析され、学術論文として公表されました。また、2017年9月の日乗連総会でもその成果を報告させて頂きました。

さて、今回は結果的に長距離国際線主体のアンケートとなりましたが、今回の調査は短距離国内線/離島路線の方々からの回答も多くいただきたいと思います。また、末尾にはご家族の方のご意見も伺う質問も設けてあります。是非、ご家族の方の協力を得て、回答をお寄せいただきたいと思います。

今後、国内で疲労管理とFRMSの対策と研究が進むにつれて、乗務職の疲労調査は重要なものとなり、今回の調査結果も多大な影響を及ぼすことが予想されます。わが国ではこれまでこのような調査は行われておりません。

みなさんの現場の正直な声を分析に反映させるため、おひとりでも多くの回答を得るためにご協力をお願いします。計30問の質問で、回答に要する時間は約20分程度です。よろしくお願いします。

1. 所属の航空会社と機種をお選びください。原則は日乗連加盟組合員向けですが、広く日本人乗員の疲労調査とする観点で、加盟以外の乗員の方の回答も受け付けます。

<input type="radio"/> JAL/787	<input type="radio"/> JAC/ATR	<input type="radio"/> SKY/737
<input type="radio"/> JAL/777	<input type="radio"/> JAC/DHC8	<input type="radio"/> ADD/737
<input type="radio"/> JAL/767	<input type="radio"/> JAC/SAAB	<input type="radio"/> ADD/767
<input type="radio"/> JAL/737	<input type="radio"/> J-AIR/EMB	<input type="radio"/> PEACH/320
<input type="radio"/> ANA/787	<input type="radio"/> J-AIR/CRJ	<input type="radio"/> VNL/320
<input type="radio"/> ANA/777	<input type="radio"/> ORC/DHC8	<input type="radio"/> JJP/320

